

本部会議での主な発言(産業活力)

■企業投資を促す環境整備

- 10年後において、韓国、中国の企業が**愛知・名古屋に直接投資をして進出する**ということが起きる地域にしなければいけない。(第1回本部会議)
- 企業、工場、研究所、学校等の誘致には、**大きな補助は起爆剤**になりうる。(第1回本部会議)
- この地域は、圧倒的な工業生産高を誇り、また交通インフラも全て揃っているが、残念ながら**外国の企業が来ない**。(第1回本部会議)
- 地域の活性化のために、魅力ある**企業や工場、研究所、国の機関をこの地に引っ張ってくる**ことは、プロ野球に外国人選手を引っ張ってくるように、**非連続的な効果**が期待できる。(第2回本部会議)

■研究開発機能のさらなる向上

- ものづくりの技術革新がこの地域からしっかり育っていく、**研究開発都市、研究開発地域**としての優位性を持った地域にならなければならない。(第1回本部会議)
- 新しい産業の創出は研究をいかに展開できるかにかかっており、そのためには、**大学と地域の研究機関、企業ともしっかりした連携ができる環境**をつくりあげていかなければならない。(第1回本部会議)
- この地域の特色はモノづくりであり、**先端技術の世界的な先進性を維持**していくことは大きなテーマである。(第1回本部会議)
- 新しい技術、製品開発力などについては、**高度な研究機関や大学の支援、それらとの共同作業**がなければ、データの解析や新しい知見に基づく開発が

難しくなっている。(第4回本部会議)

■次世代産業等の育成・振興

- **次世代自動車、航空宇宙産業やメディカルデバイス産業**など次世代の産業振興を進めてもらいたい。(第1回本部会議)
- **次世代産業の育成に官民あげて取り組んでいく**必要がある。(第1回本部会議)
- これまで自動車一本で来たこの地域の経済を、もう少し先を考えて、**航空宇宙産業、あるいは次世代自動車、資源リサイクル、長寿、観光**に向けて頑張っていく必要がある。(第1回本部会議)
- 車や航空宇宙、ロボットなどの方向性もあるが、**コンテンツ産業を育てる**仕掛けがあっていい。(第4回本部会議)

■アジアパワーの取り込み

- 地元企業の海外進出の動きは今後ますます増すものと思われる。地元企業は、タイやインドネシアなど**東南アジアにも目を向けるようになっており**、特に経営資源に乏しい**中小企業向けにきめの細かい支援**をしてほしい。(第1回本部会議)
- 海外、特に**アジアの大学と当地域との交流を充実**し、留学生が当地域で勤め先を見つけ、それが更なる留学生増加につながるメカニズムができないかと思う。(第2回本部会議)